

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	政策課
	施策	大学等高等教育の充実		電話番号	087-839-2135
	基本事業	大学等の魅力向上への取組		事業実施主体	市
	事務事業	大学等連携による地域の魅力発信事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地元大学等の魅力向上に資する事業の支援を行うことで、地元大学等の魅力向上を図るとともに、大学等の学生を呼び込むなどのため、学生の視点をいかにしながら高松の魅力向上につながる事業に取り組む。				
3年度概要	市長と学長・校長との懇談会の開催 香川大学・高松市連絡協議会の開催 トビタテ！留学ジャパン「香川地域人材育成コース」に対する支援 地元大学等との魅力向上支援事業 キャンパスメンバーズ制度推進事業				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）


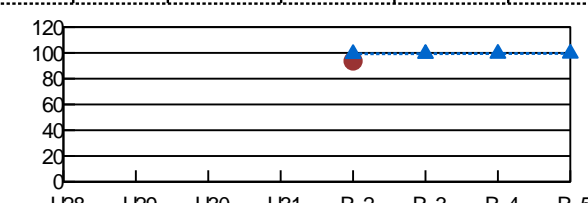

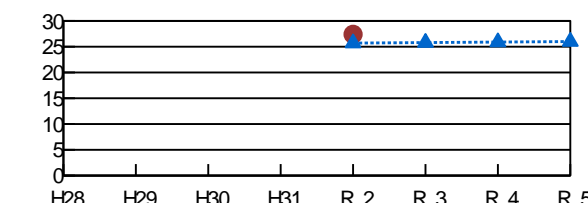
【事業の目的】

対象（何を）	大学等
意図（どのような状態にしたいか）	地域の人的・知的資源である大学等の魅力向上を図るため、大学等と多分野で様々な連携を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
大学等との連絡協議会・懇談会開催回数	回	2	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率	%	目標値			99.3	99.4	99.4
		実績値			93.7		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 総定員2,651人に対し、2,483人が入学し、充足率については、目標を下回った。  （目標達成度）						（達成度） 94.4% 33点	
包括協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合	%	目標値			25.7	25.8	25.9
		実績値			27.4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 入学者数2,483人に対し、市内出身者の入学者数は680人であり、目標を上回った。  （目標達成度）						（達成度） 106.6% 35点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）
トータルコスト	[円]	5,134	4,872	3,063	3,121
（事業費）	[円]	597	319	70	128
（職員人件費）	[円]	4,537	4,553	2,993	2,993

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	----------	--------------------------	-------------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染症の影響により、トビタテ！留学ジャパン「香川地域人材育成コース」による留学生派遣事業及び香川大学が行っている東京圏と香川の学生の対流促進事業は中止となったが、学長・校長と市長との懇談会をWeb会議で実施し、各大学等のコロナ禍におけるオンライン授業や学生への支援に関する取組・課題等について意見交換を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

コロナ禍で、対面授業や学生同士の交流が従来通り実施できていない状況が続いていることから、対面と遠隔とのハイブリッド型の授業やバーチャル空間での学生の交流など、ICTを活用した取組への支援について検討を行う。
また、大学・企業等と多分野で様々な連携を推進するなど、若者から選ばれ、定着につながるような取組を行う。

令和 3年度（ 2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	産業振興課
	施策	大学等高等教育の充実		電話番号	087-839-2411
	基本事業	大学等の魅力向上への取組		事業実施主体	市
	事務事業	専門職短期大学設置支援事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市公共施設再編整備計画（1次）案において、有識者等の意見を反映した総合評価で「2022年度末までに売却を含めた廃止を検討する」とこととされていた高松テルサの施設を有効活用し、学校法人六吹学園が構想する「専門職短期大学」の設置を支援します。	
	実事業期間 平成31（2019）年度～	

3年度概要	旧高松テルサの貸付 つり天井改修検討業務委託：6,565千円 連携・協力事業の実施
-------	---

重点取組事業	市長マニフェスト 5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	-------------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	大学等高等教育機関への進学者
意図（どのような状態にしたいか）	専門職短期大学の開学を支援し、地域の活性化を担う人材の輩出及び若者の県外流出の抑制に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
専門職短期大学設置進捗率	%			100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
		専門職短期大学入学手続完了者数	人	目標値			80	96
			実績値			16		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 文部科学省の大学設置認可が新型コロナウイルスの影響等により通常よりも数か月遅くなったため、十分な学生募集を行えなかったこと等により目標を達成することができなかった。 (目標達成度)							(達成度) 20.0% 点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（決算）	令和 3年度（予算）
トータルコスト	[千円]		112,456	7,482	14,047
（事業費）	[千円]		104,868		6,565
（職員人件費）	[千円]		7,588	7,482	7,482

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成 30年度まで高松テルサとして、勤労者福祉に寄与してきたが、当該年度をもって用途廃止し、令和元年度からは専門職短期大学設置予定事業者に貸付けるなど支援し、令和 2年度 10月に文部科学省から大学設置の認可をいただいた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

施設管理者として学校運営に協力するとともに、施設改修が必要なものについては対応する。
--